



2007年11月15日  
スターウェイ株式会社

## スターウェイの環境対応型梱包箱が キヤノンマーケティングジャパンで採用

スターウェイ株式会社(本社:東京都港区浜松町 1-18-13、代表取締役社長:竹本直文)が開発した環境対応型梱包箱「イースターパック」が、キヤノンマーケティングジャパン株式会社(本社:東京都港区港南 2-16-6、代表取締役社長:村瀬治男)の実施する消耗品回収に採用されました。今回の採用を機にスターウェイでは「イースターパック」に関わるビジネスをさらに強化してまいります。

スターウェイではイースターパックを用いた総物流サービス「環境デリバリーパック」を提供しております。物流に梱包・回収・資材管理・保管をパッケージにしたサービスで、作業の効率化とコスト削減が可能です。梱包箱を管理し循環させることで、梱包資材の廃棄量が減り、環境対策の施策として非常に有効です。環境効果と経済効果を実現する新しいサービスとして環境に配慮する各企業による採用が進んでおります。

イースターパックの管理にはRFIDを利用したトレーサビリティシステム「ESP-take2」を活用しています。このシステムではイースターパックに貼付したRFIDによって出荷・着荷情報だけでなく、内容物の情報や各種の履歴まで管理することが可能です。従来用いられてきたバーコードに比較し、多くの情報量が保有でき、また書換が可能なため新たな情報を追加することもできます。

「ESP-take2」システムは 2006 年 9 月に実用化され、大手複写機メーカーの循環型物流システムの構築をサポートしました。

システムの特徴と効果については次のとおりです。

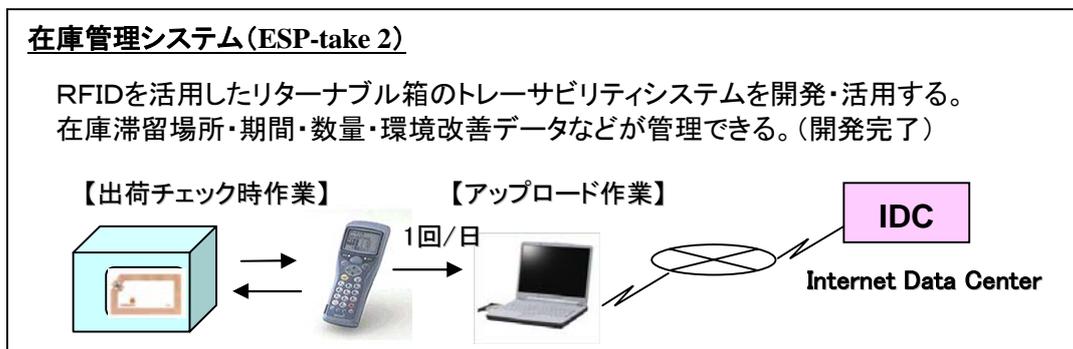
### 【特徴】

- ・ RFIDによるイースターパックの所在管理
- ・ RFIDによる積載物の追跡管理
- ・ データセンターにおける情報の一括管理

### 【効果】

- ・ イースターパックの利用回数把握による環境効果の定量的な把握
- ・ 顧客への情報提供による問い合わせ削減
- ・ 情報共有によるSCM(サプライ・チェーン・マネジメント)の実現

上記の特徴に加え、今回の事例ではRFIDの特徴である複数タグの一括読取をシステムに盛り込みました。多重RFID(5枚)を一括スキャンすることで作業性の向上を図ります。



スターウェイは、物流分野における地球温暖化対策を効果的に実現するために、「グリーン物流パートナーシップ会議」に参加しており、単独で環境対応に取り組むだけでなく他事業者と互いに知恵を出し合い、連携・協働する(パートナーシップ)事により、社会の一員として地球環境保護の責任を果たしていくことを目標としています。

( <http://www.greenpartnership.jp> )

#### [ お問い合わせ先 ]

- ◆ スターウェイ: 管理本部 総務 金子(kaneko@starway.co.jp)  
電話番号: 03-5408-1311  
ホームページ: <http://www.starway.co.jp/>

#### [ スターウェイ社概要 ]

住所 : 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-18-13 高桑ビル 7階  
事業内容 : 1. 梱包用具(イースターパック®)のリサイクル及びリース  
2. 梱包用具の開発、製造及び販売 など  
設立 : 1999年12月24日  
資本金 : 3億5,030万円  
代表取締役社長 : 竹本 直文

#### [ イースターパック®について ]

100%古紙板紙パスコと特殊フィルムの構成により環境対策とコストダウンの両立を実現した梱包箱。従来の段ボールと比較し、板紙密度が1.0以上、剥離強度および剛度が5倍。撥水性、耐水性にも優れ、約100回の使用が可能(内容物、使用方法によって異なる)。

通い箱化することによって梱包材使用量を最大1/10に削減(梱包材購入コストも削減)。最終的に使用不能となったイースターパックはスターウェイが有価にて引き取り、再び同一素材へリサイクルするため、環境負荷も軽減されるとともに企業内での廃棄処分および処理費用も不要となる。

## ESP—take2 多重RFID一括スキャン使用実例



①カゴ車のESPを5枚で結束



②ローラー台に流す



バーコードリーダー 一括スキャンアンテナ  
《出荷先伝票No.を読取る》



③読取り&書き込み



④出荷準備